

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

危険

設置場所の注意：本製品が転倒したり、地面の沈み込みの恐れがある軟弱な地面、凸凹の地面、傾斜のある地面等には設置しないでください。転倒や加工部品の落下等で重傷、死亡事故の原因となります。

作業者の注意：作業される方は必ず御使用前に取扱い説明書を熟知し本製品の使用方法をよく理解してください。さらに各部の操作に慣れ、圧力の調整作業をゆっくりと慎重に行える方が作業してください。不慣れな方は重傷、死亡の事故の原因となります。

本体の分解、修理、改造はしないでください。

警告

- 本製品は、エアコン機器の真空引き専用です。本来の用途以外で使用すると、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- 使用前や定期的に、損傷・破損、作動不良、異音、オイルの漏れなどの異常がないか点検してください。
- 使用中、損傷・破損、作動不良、異音、オイル漏れなどがある場合は、ただちに使用を中止してください。
- 異常がある場合、お買い求めの販売店までお問い合わせください。
- 作業時は、必ず安全靴、ヘルメット、保護メガネ、作業服を着用してください。
- 作業中、作業手順や周辺の状態への安全確認を怠らないようにし、事故に注意してください。
- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
- 特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 直射日光、暖房器具や温度上昇する機器の側で使用しないでください。
- 本製品を移動させるときは、絶対に電源ケーブルを引っ張らずに、ハンドルを持って運んでください。
- 真空ポンプ用オイル以外のオイルは絶対に注入しないでください。
- 能力を超える使用はしないでください。破損及びケガをする恐れや事故の原因となります。
- 設置場所の作業環境温度は 0℃～ 40℃以内です。
0℃以下はオイルが硬くなり作動不良の原因となります。
- 設置場所はチリやホコリが多くある場所に設置しないでください。シリンダーやポンプにゴミが付着するとオイル漏れの原因となります。
- 水気のある場所、水が掛かるような場所に設置しないでください。
- 電源を切る時は、必ず電源スイッチを使用してください。絶対に電源コードを引っ張って電源をOFF にしないでください。



注意

- ・本製品を落下させたり、水滴が付着しないよう取り扱いには十分配慮してください。
- ・長時間使用しない時は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから外して保管してください。
- ・ご使用の際は、現場での電力状況を確認してください。モーターロック、モーター焼けの原因として電圧降下が考えられます。
- ・ポンプは水平を保つように置いてください。傾斜した場合はオイルが漏れる場合があります。オイルはポンプの潤滑、冷却及び気密を保つ働きをし、ポンプ内で凝縮される腐食性の酸や水をオイルの中に回収します。オイルの良否は真空度や低温時の始動性能に影響しますので、必ず良質の真空ポンプオイルをご使用ください。
- ・ご使用前に必ずオイルが十分入っているか確認してください。サイトグラスの基準線が規定量になっています。オイルが少なすぎると真空度が上がらず、多すぎるとオイルが排気口から吹き出しますので、必ず規定量を入れてください。
- ・保管、ご使用の際は高温・多湿・直射日光を避けてください。

1.製品の構成

製品は以下の構成からなります。

商品が届きましたら開梱の上、部品の不足、破損等をご確認ください。不具合がありましたらご購入販売店を通して至急ご連絡をお願いします。

構成品

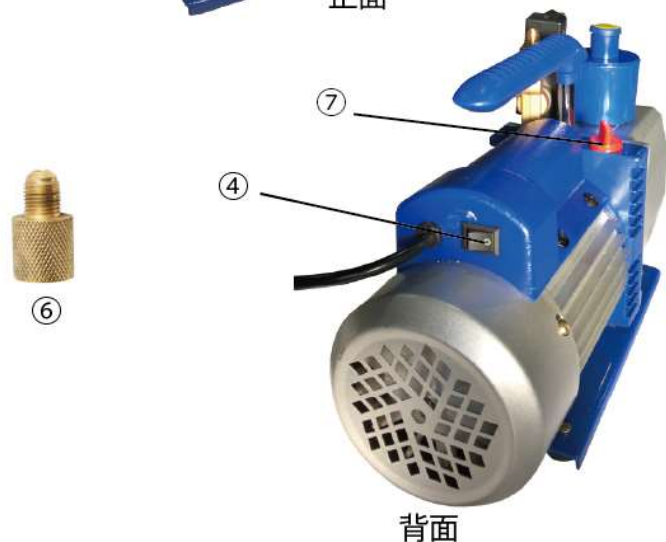
1. 真空ポンプ本体
2. 真空ポンプオイル
3. 取扱説明書
4. 変換アダプター (7/16-20UNF-M10X1.5)

2.各部名称

- ① サイトグラス
- ② 排気キャップ
- ③ 吸気口 (7/16-20UNF)
- ④ 電源スイッチ
- ⑤ オイルドレンプラグ
- ⑥ 変換アダプター (M10×1.5)
- ⑦ 給油キャップ



正面



背面

3. 運転準備

- 3.1 ⑦の給油キャップを外し、オイルを注入してください。①サイトグラスの基準線以上が規定量になっています。オイルが少なすぎると真空度が上がらず、多すぎると②排気口からオイルが吹き出します。



オイルがこのライン以上まで入っているかご使用前に必ず確認してください。

※出荷時はオイルを抜いています。使用開始前に必ず給油してからポンプを運転してください。

- 3.1 ⑦の給油キャップを外し、オイルを注入してください。①サイトグラスの基準線以上が規定量になっています。オイルが少なすぎると真空度が上がらず、多すぎると②排気口からオイルが吹き出します。
- 3.2 ポンプは水平を保つように置いてください。傾斜している場合は、オイルが漏れる場合があります。
- 3.3 ポンプ外周の障害物の距離は 2cm 以上空間が必要です。前後の距離は 5cm 以上空けてください。

4. 運転

- 4.1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 4.2 ②排気キャップを取り外してください。
- 4.3 ③吸気口からキャップを外し、チャージングホースを接続してください。
- 4.4 ④電源スイッチを ON にすると運転が始まります。
- 4.5 エアコンのマニュアルにある真空引き時間に従って運転してください。
- 4.6 真空引き後、リークチェックを行い、漏れがないことを確認してください。
- 4.7 ③吸気口からチャージングホースを外し、キャップを取り付けてください。

※寒冷時に始動する場合は③吸気口を開放したまま、しばらく運転し真空ポンプオイルを暖めてから真空引きを始めてください。

5.オイル交換

- 5.1 ⑤オイルドレンプラグを外して、汚れたオイルを排出してください。③吸気口を開放してポンプを3秒間運転して内部に残ったオイルを抜いてください。

※オイル交換の目安は
300時間使用後です。



⑤オイルドレンプラグ

- 5.2 ⑤オイルドレンプラグを取り付けて⑦給油キャップを外して、新しいオイルを規定量注入してください。
- 5.3 排出したオイルが非常に汚れている場合は、ポンプ内部の洗浄が必要です。ポンプ作動させてください。⑦給油キャップを外して、新しいオイルを入れてください。これを必要に応じて繰り返してください。その後洗浄したオイルは全てポンプから排出してください。

トラブルシューティング

故障の形態	原因	対処方法
真空度が低い	1. オイルの不足	オイルをレベルラインより上に充填する
	2. ポンピングオイルが乳化 または汚れている	オイルを交換してください
	3. オイル注入口が詰まっている、 またはオイルが不足している	油入口の掃除、フィルターネットの洗浄
	4. ドレンパイプ接続不良	パイプの接続を確認してください
	5. ポンプが適切ではありません	適切なポンプを使用してください
オイルドレン	1. オイルセッターが破損している	交換
	2. タンクが緩んでいるか、摩耗している	ネジとOリングの交換
オイルスプレー	1. オイルが多すぎる	オイルは水平線に入れてください
	2. ガス流入口の圧力が高すぎるか、 送りすぎている	確認して修正してください
始動不良	1. 油温が低すぎる	機械を数回始動するかオイルを加熱する
	2. 電気機械に何らかの故障がある	確認して修正してください
	3. ポンプ内に異物が入っている	確認して修正してください